

(様式2)

第4次京丹後市観光振興計画（案）の概要

1 計画の趣旨

観光は、グローバル化する社会経済のもと地方創生の重要なテーマで、地域の経済から文化に至るまで多様な波及効果を生むことから、まちづくりの原動力となっています。このため、本市の個性を活かして持続的に発展できる観光の将来を構築していくことが望まれます。

第4次京丹後市観光振興計画は、引き続き「京丹後市観光立市推進条例」に基づき、これまでの本市観光振興計画の経緯を踏まえ、国内外の社会経済の変化、観光市場の動向などを理解した上で、本市の観光の現状と課題を整理し、市、市民、観光事業者、観光関係団体等が、「観光立市の実現」という共通の目的に向かって総合的かつ計画的に取り組むための施策の内容を明らかにします。

2 計画概要

(1) 計画の役割・期間・意義

① 計画の役割

京丹後市観光立市推進条例の趣旨に基づき、観光立市の実現に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための具体的な取組として策定しました。

② 計画の期間

5年間（令和5年度～9年度）とし、5年ごとに見直します。

③ 計画の意義

第4次計画は、第3次計画の実績や新型コロナウイルス感染症等に伴う環境の変化を踏まえて、市、観光関係団体、観光事業者、市民などがその内容を十分認識し、「観光立市の実現」という目標に向かって、さらにそれぞれの立場で実行するものです。

(2) 明らかにすべき計画の内容

① 京丹後市の観光の現状と課題を明らかにします。

- 観光入込客数と観光形態、観光施設などの利用状況、特徴的な観光資源など、現状を明らかにします。
- 観光の課題及び対策の方向性を明らかにします。

② 将来ビジョンを明らかにします。

- 観光振興のコンセプトを明らかにします。
- 将来の目標数値を明らかにします。
- 基本方針と、それらに基づく基本戦略を明らかにします。

③ 実行性のある「アクションプロジェクト」を明らかにします。

- 基本方針と基本戦略に基づく、「アクションプロジェクト」を明らかにします。
- 地域の現状と特色を活かした「エリア別目標・地域別プロジェクト」を明らかにします。

3 将来ビジョン

(1) コンセプト

彩り・味わい京丹後
海・森・里山 つながりの郷

(2) 目標数値 ※コロナ前は令和元年、現状は令和3年、目標は令和9年の数値

□年間観光入込客数 コロナ前 211万人 現状 128万人 ⇒目標 240万人

□年間宿泊客数 コロナ前 36万人 現状 29万人 ⇒目標 55万人

□年間外国人宿泊客数

コロナ前 5,025人 現状 2,797人 ⇒目標 10,000人

□年間観光消費額 コロナ前 71億円 現状 66億円 ⇒目標 105億円

□再来訪意向率 コロナ前 — 現状 75.2% ⇒目標 85.0%

□宿泊者数平準化率 コロナ前 — 現状 42.0% ⇒目標 50.0%

※再来訪意向率…満足度調査において再来訪意向の問いに、「大変そう思う」、「そう思う」、「やや思う」と答えた方のパーセント

※宿泊者数平準化率…閑散期(4、6、9、10月)の宿泊者数合計を、繁忙期(8、11、12、1月)の宿泊者数の合計で除し、繁忙期を100とした場合の閑散期の宿泊割合を数値化したもの。

4 基本方針

- ＜基本方針1＞ 豊潤な“食”の魅力を最大限発揮し「旨いものを食べるなら京丹後」を実現します
- ＜基本方針2＞ 多彩な“人”の魅力を観光価値化し「何度でも訪れたい京丹後」を創出します
- ＜基本方針3＞ 多種多様な“文化資源”を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信します
- ＜基本方針4＞ SDGsに対応した「持続的で環境にやさしい観光地・京丹後」を推進します
- ＜基本方針5＞ 安全・安心・快適でユニバーサルな「人にやさしい観光地・京丹後」を推進します
- ＜基本方針6＞ デジタル技術を活用し、情報発信やマーケティングを展開する「観光DX・京丹後」を推進します
- ＜基本方針7＞ 地域総ぐるみで取り組む「みんながつながる観光地・京丹後」を推進します

5 施行期日について

令和5年4月1日から施行します。